



愛媛県立  
松山東高等学校

# 東高 がんばっていきましょい ーグローバルからグローバルへの挑戦ー

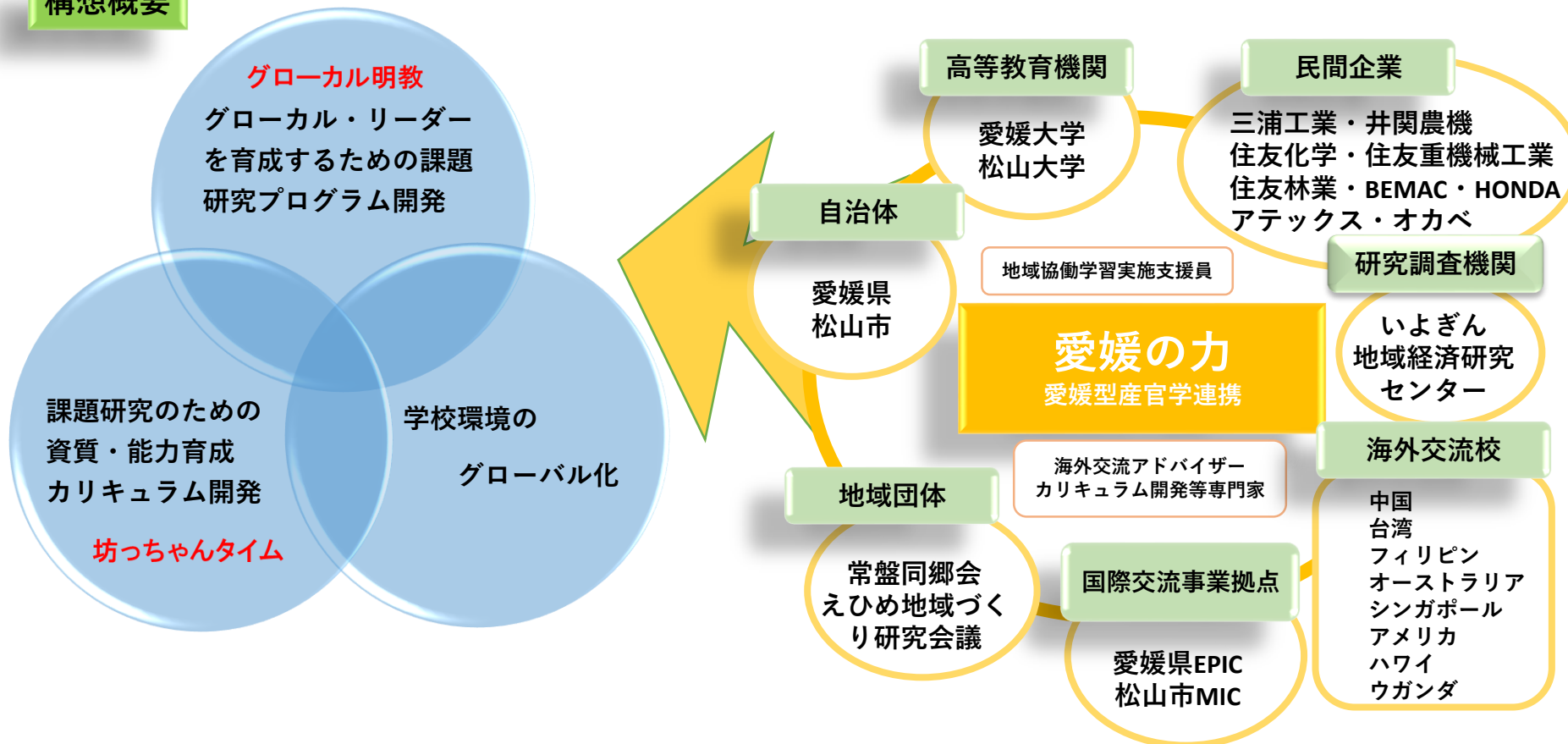


目標  
・  
人材像

輝かしい伝統を受け継ぎ、新たな創造を切り拓く人間的魅力のあるグローバル・リーダーの育成

- 地域マネジメント力を身に付け、郷土の課題解決に貢献する志を持った人材
- グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献する人材

## 構想概要



# グローバル・リーダーを育成するための持続可能な課題研究

## グローバル明教（G明教）

1年生全員（360人）



### グローバルとの出会い



### グローバル課題の発見

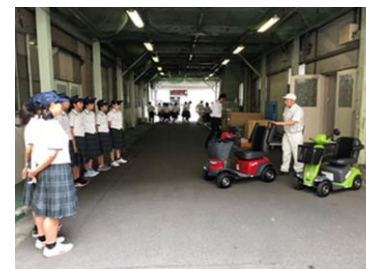
#### 興味関心を高め、知識を深めるために

##### ・講演

- 「世界は広くして余程狭く御座候」
- 「これからのよのなかの話をしよう」
- 「地域社会の持続可能な発展に向けて」
- 「世界共通のゴール『SDGs』の達成に向けて」
- 「企業の見方&地域製品のマーケティング」
- 「いい、加減。まつやま」
- 「レペゼン故郷！井の中の蛙 大海をゆく」等

##### ・講座

- 「笑顔のまつやま まちかど講座」
- 全15テーマから2つを選んで受講



#### 自分で体験する

- ・松山市内FW（全員）  
「坂の上の雲ミュージアム・秋山兄弟生家訪問」
- ・県内企業FW（全員）★  
井関農機・三浦工業・住友化学・住友重機械工業  
住友林業・アテックス・オカベの7社を訪問
- ・海外FW（希望者）★  
台湾・中国を訪問
- ・課題研究  
「地域及び世界の持続的な発展のために」  
全19テーマに分かれて研究テーマを設定し、  
本校教員の指導のもとグループ研究を実施  
★令和2、3年度は代替講演・代替交流を実施

# グローバル・リーダーを育成するための持続可能な課題研究

2年生GLコース生

グローバル課題への取組

## ・課題研究

全14テーマに分かれて研究テーマを設定  
愛媛大学・松山大学・松山市・愛媛県立中央病院等  
の方々より直接指導を受け研究

24回48時間実施

テーマ例

「難民と現地の人々が絆を深めるには？  
～未来ドラフトを通じて～」

「地域活性化のための理想の多世代交流拠点とは」

「あなたは大丈夫？身近に潜む受動喫煙」

## ・海外FW(希望者)

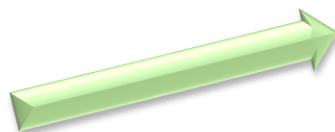
フィリピンを訪問 ★令和2、3年度は代替交流を実施

## ・中間発表会・成果発表会

12月に中間発表会をポスター発表で実施

3月に4グループに分かれてシンポジウムを実施

## ・保健講話



3年生GLコース生

グローバル課題の解決と発信



## ・課題研究

2年次から研究している内容を論文としてまとめる  
12回12時間実施

論文タイトル例

「抗アレルギー効果のある食品の研究」  
「効率的な技術学習のためのAR、VR、MRの活用法」  
「まつやま防災マップの活用についての提案」  
「コロナ禍の周産期と出生前診断」  
「愛媛のインバウンドを活性化させるために」

## ・松山市への提言

防災教育フォーラムで防災マップに関する提言を行う

## ・研究成果発表会

論文を9月に全員が発表

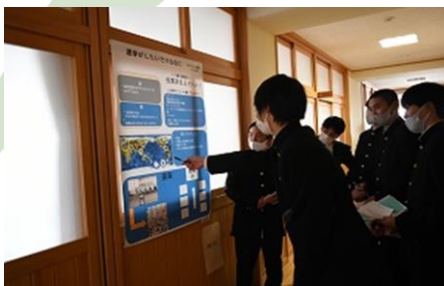


# グローバル・リーダーを育成するための持続可能な課題研究

## 発表機会の確保

1年生全員

成果発表会(3月)  
グループごとにポスター(116枚)を作成。全体発表とポスターセッションを実施



2年生GLコース生

中間発表会(12月)  
個人またはグループごとにポスター(68枚)を作成。全体発表とポスターセッションを実施



成果発表会(3月)  
4グループのテーマごとに分かれ、シンポジウムを実施



3年生GLコース生

研究成果発表会(9月)  
全員が作成した論文の内容をプレゼンテーション(15会場)



# 学校環境のグローバル化

## SGH部の活動



平成26年度指定のSGH事業において、本校のグローバル化を率先・牽引していくために、文化部の一つとしてSGH部を新設。英語を用いてディベートやスピーチなど様々なコンテストに挑戦する英語系の活動、国際理解や国際貢献といった分野について学んだり活動したりする国際系の活動などを行っている。

## 国際理解・交流

- ・International Day(毎月)  
留学生や外国から来た市内居住者を招いて、いろいろな企画を実施
- ・市内高校生交流会・勉強会(毎月)  
市内の高校生が集まり、ゲストを招いて、SDGsの課題についてのディスカッション
- ・中四国高校生会議(2月)  
中四国の高校生が集まり、SDGsの課題についての提言やプレゼンテーション
- ・フードドライブ(適宜) フェアトレード(9月・12月・2月) 愛媛・松山地球人まつり(1月)  
まつやまこども食堂などでのボランティア活動  
フェアトレードの啓発と商品の販売
- ・国際交流・学校交流  
FWや修学旅行で訪問する学校と、オンラインで交流、ビデオレターの送付  
(交流先)・ビクトリア ジュニア カレッジ(シンガポール)
  - ・開南大学／国立中興大学附属高級中学校(台湾)
  - ・フィリピン大学附属高校(フィリピン)
  - ・北京月壇中高等学校(中国)
  - ・プナホウ高校／ハワイバプテストアカデミー(ハワイ)
  - ・トーリー パインズ高校(アメリカ)
  - ・フリンダース大学附属語学学校(オーストラリア)
  - ・児童福祉施設ワトト(ウガンダ)

## 研究活動

- ・全国高校生フォーラムや愛媛県高等学校国際教育生徒研究発表会等で研究発表



# 学校環境のグローバル化

## ・海外高校生との交流

ハワイ、フライブルク、台湾  
香港高校生来校(令和元年度)  
授業やホームルーム、部活動など  
を通しての交流

## ・留学支援及び留学生受入

「トビタテ!留学JAPAN」計6名  
留学生の受入 計7名

- ・「EUがあなたの学校にやってくる」
- ・「外務省『高校講座』」実施



- ・海外修学旅行
- ・アデレード短期語学研修



# 課題研究のための資質・能力育成カリキュラム開発

## ・East CLIL

松山東高校版内容言語統合型学習  
プレゼンテーション能力の育成

- ・英語表現・パフォーマンステスト  
使える英語力の育成



# コンソーシアムとの協働

## 大学との連携

### 連携先① 愛媛大学

- ・課題研究講師派遣 講師18人及びTA16人が指導
- ・講演講師派遣 講演に講師を派遣
- ・地方創生若者会議、日本ESD学会第1回四国地方研究会で発表
- ・愛媛大学SDGsシンポジウムに参加
- ・愛媛大学高大接続科目の受講「ことばの世界」「初修外国語」「数学入門」

### 連携先② 松山大学

- ・課題研究講師派遣 講師3人

### 連携先③ 学習院大学

- ・講演講師派遣 1人、・大学訪問

### 連携先④ 大阪大学

- ・フィールドワークと国際交流(大学訪問)



## 企業との連携

### 連携先① いよぎん地域経済研究センター(IRC)

- ・県内企業FW及び海外FW訪問先紹介、課題研究連携先の紹介
- ・課題研究講師派遣 6人

### 連携先② 県内企業FW訪問先

- ・住友化学、住友重機械工業、住友林業、三浦工業、井関農機、アテックス、オカベ

### 連携先③ 海外FW訪問先

- ・三浦工業台湾 台北本社・台南工場、三浦工業中国蘇州工場、BEMACフィリピン工場、HONDAフィリピン工場



# コンソーシアムとの協働



## 松山市との連携

- ・講演講師派遣 総合政策部企画戦略課、総合政策部シティプロモーション推進課
- ・課題研究講師派遣 総合政策部危機管理課 選挙管理委員会
- ・笑顔のまつやま まちかど講座 受講 15講座開設 各担当課
- ・絵手紙でつなぐふるさと松山講座 受講
- ・「ふる里産業人養成講座」開設 総合政策部企画戦略課 3回
- ・保健講座 松山市保健所 松山市保健予防課
- ・市内FW 松山市立坂の上の雲ミュージアム訪問
- ・海外FW報告会会場提供 松山市立子規記念博物館
- ・松山市防災教育フォーラムでの提言
- ・松山市活性化コンテスト、松山市民シンポジウム参加



## その他の連携

- ・G20労働雇用大臣会合での提言  
「仕事の未来」について厚生労働大臣に提言
- ・市内高校生との連携  
市内高校生交流会を主催し、SDGsを中心に勉強会を開催
- ・県内外高校生との連携  
中四国高校生会議を主催し、SDGs共通テーマでディスカッションを実施





# 地域協働学習実施支援員及びカリキュラム開発等専門家との協働

## ・講師の担い手となる多国籍・多職種な地域人材の発掘、及び講師のサポート

持続的に講師を確保するため、地域で活躍する外国人や国際交流に関わる社会人を講師として発掘。円滑な指導のための情報提供。

(例: 発表形式、評価形式、スケジュール、生徒が直面しやすい問題、研究テーマの設定、既存の研究事例の紹介など)

## ・高校教員による課題研究指導のサポート

これまで講師として課題研究に関わってきた経験を生かして、指導に利用できるワークシートの作成や、指導スケジュールの作成、生徒が陥りやすい問題と解決方法などをまとめた参考資料の作成。また、高校教員が実施する授業に参加してのアドバイスや協力。

## ・課題研究に関わる事前研修と課題研究の指導

課題研究への取り組み方や、課題研究のまとめ方等を生徒に直接指導。

1年生対象「課題研究のすすめ方」講座、「情報・資料検索」講座

2年生対象「論文・抄録作成」講座

## ・過去の課題研究のデータ化及び検索システムの構築

SGH事業及び本事業の課題研究ポスター及び抄録を自由に閲覧し、利用することが可能

## ・課題研究等に関するアンケートの集計及び分析

年度末の生徒・保護者・教員に対するアンケート項目の検討、集計作業・アンケート分析。  
次年度の実施項目の検討。

## ・他校への普及 課題研究を通じた学びの発信と共有

愛媛県が主催する「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム」でのパネリストや「『日本の次世代リーダー養成塾』成果普及研修会」での講演



# 課題と今後の取組



## ・コンソーシアムとの連携

本校と各機関との連携はスムーズに実践できたが、各機関どうしを連携させての活動までには至っていない。来年度以降も本事業の内容を継続できるように、現在各機関と連携協定を結ぶ準備を行っている。

## ・活動資金の確保

「松山東高等学校グローバル人材育成振興会」が平成28年度に結成された。会費を募り、国際感覚・国際的教養を身に付けたグローバル人材を育成するために、海外フィールドワーク・海外研修に参加する生徒等への補助、学会・研究会で発表する生徒等への補助、講演会等実施時の講師旅費・謝金、課題研究に必要な書籍等の購入、教育活動に役立つICT機器の整備等に活用できるようになっている。保護者・同窓会等から会費をいただいているが年々収入額が減っている。今後は今まで以上に、本活動の情報発信と振興会の啓発活動を積極的に行う。

## ・海外FW、海外修学旅行、海外語学研修の継続

令和元年度には学年の3分の2の生徒がパスポートを取得し海外に渡航していた。しかし、この2年間新型コロナウイルスの影響で、FW及び語学研修は代替のオンライン交流で行い、修学旅行は中止してきた。オンライン交流では一定の効果はあったが、本物に触れる体験ほどの効果は上がっていない。また、海外研修報告会で全校生徒への普及を行っていたがこれも実施できていない。今後も継続して実施できるように、海外の連携先との協力関係を構築していくとともに、全校生徒への普及も継続して行う。

## ・課題研究指導体制の構築

来年度以降も、1年生全員に対しては本校教員が、2年生GLコース生には外部の講師が課題研究の指導を行う。

本事業では、中心となって運営する校務分掌として、GL事業課を設置している。本課に所属する教員は、計画立案、本事業の円滑な実施、考察、事業計画の改善を図っている。

課題研究は、GL事業課の担当者と学年団が連携し実施しているが、外部機関との連絡・交渉、研究内容についての支援を十分に行えていない。担当の先生方が指導しやすい体制の構築を図っていき、継続的な指導ができるように改善する。

